

N8405-043

EMカード ユーザーズガイド

SIGMABLADEモニター操作説明書
OSD(On Screen Display)機能 操作説明書

2016年 4月 第16版

注 意

製品のご使用前に、必ず本書をお読みの上で注意をお守りください。本書は、必要な時にすぐ見られるように保管してください。

輸出の際の注意事項

本製品(ソフトウェアを含む)は、外国為替および外国貿易法で規定される規制貨物(または役務)に該当することがあります。その場合、日本国外へ輸出する場合には日本国政府の輸出許可が必要です。なお、輸出許可申請手続きに当たり資料等が必要な場合には、お買い上げの販売店またはお近くの当社営業拠点にご相談ください。

注 意

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。
VCCI-A

商標について

EXPRESSBUILDER、ESMPRO、DianaScope、EXPRESSSCOPE、SIGMABLADE、SigmaSystemCenterは日本電気株式会社の登録商標です。

MicrosoftおよびWindowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Linuxは、Linus Torvalds 氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。

Red Hatおよび Red Hatをベースとしたすべての商標とロゴは、米国およびその他の国におけるRed Hat, Inc.の商標または登録商標です。

VMware、VMWare ESX、VMWare vSphereは、米国およびその他の地域におけるVMware, Inc.の登録商標または商標です。

他のすべての社名および製品名はそれぞれの企業の商標もしくは登録商標です。

本書について

本書は、本製品(EMカード)を本体装置 N8405-040(ブレード収納ユニット (SIGMABLADE-H))に正しく接続し、使用できるようにするための手引きです。

本製品を使用して本体装置のH/W管理/監視、リモートマネジメントを行う上で、分からないことや具合の悪いことが起きたときは、取り扱い上の安全性を含めてご利用ください。

また、SIGMABLADEモニター、およびOSD(On Screen Display)機能の説明を記載しています。

本書は必要なときにすぐ参照できるよう、お手元に置いておくようにしてください。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 弊社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。
- (4) 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。
- (5) 運用した結果の影響については(4)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。



本製品の使用につきましては、本書および本体装置に添付のユーザーズガイドを参照の上、ご使用願います。本書をお読みになった後は、必要なときにすぐに参照できるよう、お手元に置いておくようにしてください。

使用上のご注意（必ずお読みください）







本製品を安全に正しくご使用になるために必要な情報が記載されています。
 また、本文中の名称についてはユーザーズガイドの「各部の名称と機能」の項をご参照ください。

安全にかかわる表示について

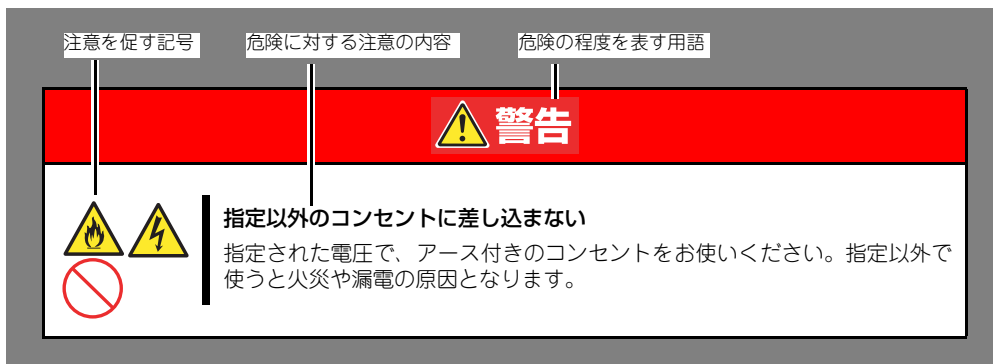
本製品を安全にお使いいただくために、このユーザーズガイドの指示に従って操作してください。
 本書には、ご使用時に本製品のどこが危険か、どうすれば危険を避けられるかなどについて記載されています。
 本書では、危険の程度を表す言葉として、「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。

 警告	死亡または重傷を負う危険性があることを示します。
 注意	火傷やけがの危険性があることを示します。

危険に対する注意・表示は次の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

	注意の喚起	この記号は、危険が発生するおそれがあることを表します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。	(例)  (感電注意)
	行為の禁止	この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示は、してはならない行為の内容を図案化したものです。	(例)  (分解禁止)
	行為の強制	この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示は、しなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。	(例)  (プラグを抜け)

(本書での表示例)



本書と警告ラベルで使用する記号とその内容

注意の喚起

	感電の危険性があることを示します。		爆発や破裂による傷害を負うおそれがあることを示します。
	指などがはさまれてけがをするおそれがあることを示します。		発煙または発火のおそれがあることを示します。
	高温による傷害を負うおそれがあることを示します。		回転物によるけがのおそれがあることを示します。
	特定しない一般的な注意・警告を示します。		

行為の禁止

	本装置を分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。		水や液体のかかる場所で使用しないでください。水に濡らすと感電や発火のおそれがあります。
	ぬれた手で触らないでください。感電するおそれがあります。		特定しない一般的な禁止を示します。

行為の強制

	電源プラグをコンセントから抜くこと、および分電盤のサーキットブレーカを切ることの指示を示します。		特定しない一般的な使用者の行為を指示します。説明に従った操作をしてください。
--	--	--	--

安全上のご注意

本製品を安全にお使いいただくために、ここで説明する注意事項をよく読んでご理解し、安全にご活用ください。記号の説明についてはiiiページの『安全にかかわる表示について』の説明を参照してください。

全般的な注意事項

 **警告**

	<p>人命に関わる業務や高度な信頼性を必要とする業務には使用しない</p> <p>本装置は、医療機器・原子力設備や機器、航空宇宙機器・輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みやこれらの機器の制御などを目的とした使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用した結果、人身事故、財産損害などが生じても当社はいかなる責任も負いかねます。</p>
	<p>自分で分解・修理・改造はしない</p> <p>本書に記載されている場合を除き、絶対に分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。装置が正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の危険があります。</p>
	<p>煙や異臭、異音がしたまま使用しない</p> <p>万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに電源を OFF にして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となります。</p>
	<p>針金や金属片を差し込まない</p> <p>本装置に金属片や針金などの異物を差し込まないでください。火災・感電の危険があります。</p>
	<p>複数のスイッチモジュール／スルーカードを同時に取り付け／取り外ししない</p> <p>スイッチモジュール／スルーカードの取り付け／取り外しは、1枚単位で行ってください。複数のスイッチモジュール／スルーカードを同時に取り付け／取り外しをしたり、別のスロットのカバーを取り外したまま取り付け／取り外しをしたりすると、感電するおそれがあります。</p>

 **注意**



本体装置内に水や異物を入れない

本体装置内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐ本体装置の電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。分解しないで販売店または保守サービス会社にご連絡ください。




中途半端に取り付けない

インタフェースケーブルは確実に取り付けてください。ブレード収納ユニットには確実に取り付けてください。中途半端に取り付けると接触不良を起こし、発煙や発火の原因となるおそれがあります。

設置・装置の移動・保管・接続に関する注意事項


⚠ 注意



指定以外の場所に設置・保管しない


本装置を次に示すような場所や本書で指定している場所以外に置かないでください。火災の原因となるおそれがあります。

- ほこりの多い場所。
- 給湯器のそばなど湿気の多い場所。
- 直射日光が当たる場所。
- 不安定な場所。



腐食性ガスの存在する環境で使用または保管しない


腐食性ガス（二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど）の存在する環境に設置し、使用しないでください。また、ほこりや空气中に腐食を促進する成分（塩化ナトリウムや硫黄など）や導電性の金属などが含まれている環境へも設置しないでください。装置内部のプリント板が腐食し、故障および発煙・発火の原因となるおそれがあります。もしご使用の環境で上記の疑いがある場合は、販売店または保守サービス会社にご相談ください。



指定以外のインタフェースケーブルを使用しない

インタフェースケーブルは、弊社が指定するものを使用し、接続する装置やコネクタを確認した上で接続してください。指定以外のケーブルを使用したり、接続先を誤ったりすると、ショートにより火災を起こすことがあります。また、インタフェースケーブルの取り扱いや接続について次の注意をお守りください。

- 破損したケーブルコネクタを使用しない。
- ケーブルを踏まない。
- ケーブルの上にものを載せない。
- ケーブルの接続がゆるんだまま使用しない。
- 破損したケーブルを使用しない。



指を挟まない

本装置の取り付け・取り外しの際に扉で指を挟んだり、切ったりしないよう十分注意してください。

お手入れに関する注意事項



警告



自分で分解・修理・改造はしない

絶対に分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。本体装置が誤動作したり、感電や火災の危険があります。



リチウムバッテリーを取り外さない

本製品にはリチウムバッテリーが取り付けられています。バッテリーを取り外さないでください。バッテリーは火を近づけたり、水に浸けたりすると爆発するおそれがあります。



また、バッテリーの寿命で本装置が正しく動作しなくなったときは、ご自分で分解・交換・充電などをせずにお買い求めの販売店、または保守サービス会社に連絡してください。



注意



中途半端に取り付けない

電源コードやインタフェースケーブルは確実に取り付けてください。中途半端に取り付けると接触不良を起こし、発煙や発火の原因となるおそれがあります。



ブレード収納ユニットに取り付けたまま取り扱わない

お手入れをする場合は、ブレード収納ユニットから取り外してから行ってください。たとえ電源をOFFにしても、ブレード収納ユニットに接続したまま作業するとブレード収納ユニットに搭載されている機器が正常に動作しなくなるばかりか感電や火災の原因となるおそれがあります。

また、電源プラグはときどき抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったままで、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。

はじめに

このたびは、本製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。本製品をブレード収納ユニット N8405-040 (SIGMABLADE-H) のEMカードスロットに実装し、主として下記のマネジメント機能を提供します。詳細は「基本機能」-「マネジメント機能」(5ページ)を参照してください。なお、本製品を使用する装置のユーザーズガイドとあわせてご覧ください。

- 電力管理
- 冷却管理
- ラック内筐体管理：
ラック名、ブレード収納ユニット名、ブレード収納ユニット内モジュール名の情報管理
- システム情報監視：
電源ユニット/FAN/ブレード収納ユニット内モジュールのステータス
- 外部管理インタフェース
- ブレード収納ユニット間接続

付属品の確認




本製品には、以下の付属品が添付されています。すべてそろっていることを確認してください。万一、足りないものがあつた場合は、お買い求めの販売店までご連絡ください。

- EMカード本体×1
- ドキュメント×1 (冊子またはCD-ROM)
- 使用上のご注意×1
- 保証書×1

本書について

本文中の記号について

本書では先に示した安全にかかわる注意記号の他に3種類の記号を使用しています。これらの記号と意味をご理解になり、本製品を正しくお取り扱いください。

	本製品の取り扱いや、操作で守らなければならない事柄や特に注意をすべき点を示します。
	本製品やソフトウェアを操作する上で確認をしておく必要がある点を示します。
	知っておくと役に立つ情報や、便利なことなどを示します。

取り扱い上のご注意 ～本製品を正しく動作させるために～

本製品を正しく動作させるために、次に示す注意事項をお守りください。これらの注意を無視した取り扱いをすると、誤動作や故障の原因となります。

- 定期的にも本製品を清掃してください。定期的な清掃はさまざまな故障を未然に防ぐ効果があります。



保守サービスについて

本製品の保守に関して専門的な知識を持つ保守員による定期的な診断・保守サービスを用意しています。本製品をいつまでも良い状態でお使いになるためにも、保守サービス会社と定期保守サービスを契約されることをお勧めします。

- 故障時の処置

故障した場合は、分電盤のブレーカを切断し、または電源プラグをコンセントから抜き、保守員にご連絡ください。

- 近くで携帯電話やPHSポケットベルを使わない

本装置のそばでは携帯電話やPHS、ポケットベルの電源をOFFにしておいてください。電波による誤動作の原因となります。

本書を紛失してしまったら

もし本書を紛失された場合は、以下に示す弊社ホームページから本書のデータファイル（pdf形式）をダウンロードしてください。

弊社ホームページ <http://www.nec.co.jp/products/pcserver/>

第三者への譲渡について

本装置または、本装置に添付されているものを第三者に譲渡（または売却）するときは、次の注意を守ってください。

- **本体について**

本装置を第三者へ譲渡（または売却）する場合には、本書を一緒にお渡しください。

- **添付のソフトウェアについて**

本装置に添付のソフトウェアを第三者に譲渡（売却）する場合には、以下の条件を満たす必要があります。

- － 添付されているすべてのものを譲渡し、譲渡した側は一切の複製物を保持しないこと
- － 各ソフトウェアに添付されている『ソフトウェアのご使用条件』の譲渡、移転に関する条件を満たすこと
- － 譲渡、移転が認められていないソフトウェアについては、インストールした装置から削除した後、譲渡すること

消耗品・装置の廃棄について

- 本製品の部品の中には、寿命により交換が必要なものがあります。製品を安定して稼働させるために、これらの部品を定期的に交換することをお勧めします。交換や寿命については、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- 本製品、CPUブレード、増設HDDブレード、ハードディスクドライブ、CD-ROM、オプションのブレード収納ユニットやボードなどの廃棄については各自治体の廃棄ルールに従ってください。なお、製品添付の電源ケーブルにつきましても、他製品への転用を防ぐため、本体と一緒に廃棄してください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。



- 本製品のマザーボード上にあるバッテリーの廃棄（および交換）についてはお買い求めの販売店、または、弊社営業までお問い合わせください。
- ハードディスクドライブやバックアップデータカートリッジ、フロッピーディスク、その他書き込み可能なメディア（CD-R/CD-RWなど）に保存されているデータは、第三者によって復元や再生、再利用されないようお客様の責任において確実に処分してから廃棄してください。個人のプライバシーや企業の機密情報を保護するために十分に配慮してください。

**警告****リチウムバッテリーやニッカドバッテリー、ニッケル水素バッテリーを取り外さない**

本製品内部にはリチウムバッテリーが取り付けられています。(オプションデバイスの中にはニッカドバッテリーやニッケル水素バッテリーを搭載したものもあります)。バッテリーを取り外さないでください。リチウムバッテリーやニッカドバッテリー、ニッケル水素バッテリーは火を近づけたり、水に浸けたりすると爆発するおそれがあります。

その他、オプションボードに搭載されているバッテリーの位置についてはオプションボードに添付の説明書を参照してください。

装置の輸送について

本体およびオプションなどには、リチウム金属電池あるいはリチウムイオン電池を使用しています。リチウム電池の輸送に関しては、航空・海上輸送規制が適用されますので本体およびオプションの航空機、船舶等での輸送については、お買い求めの販売店、または保守サービス会社へお問い合わせください。

目次

⚠ 使用上のご注意（必ずお読みください）.....	iii
安全にかかわる表示について.....	iii
本書と警告ラベルで使用する記号とその内容.....	iv
安全上のご注意.....	v
全般的な注意事項.....	v
設置・装置の移動・保管・接続に関する注意事項.....	vii
お手入れに関する注意事項.....	viii
はじめに.....	ix
付属品の確認.....	ix
本書について.....	x
本文中の記号について.....	x
取り扱い上のご注意 ～本製品を正しく動作させるために～.....	x
本書を紛失してしまったら.....	xi
第三者への譲渡について.....	xii
消耗品・装置の廃棄について.....	xii
装置の輸送について.....	xiii
目次.....	xiv

1 EMカード各部の名称と機能

EMカード.....	2
ランプ表示.....	3
STATUSランプ.....	3
ACTIVEランプ.....	4
IDランプ.....	4
LINK/ACTランプ.....	4
SPEEDランプ.....	4
基本機能.....	5
マネジメント機能.....	5
電力管理.....	5
NASブレード電源連動制御.....	7
冷却管理.....	7
CPUブレード～スイッチモジュール間インタフェース 管理.....	8
筐体情報管理.....	8
ブート制御.....	8
vIOコントロール機能.....	9
SigmaSystemCenter連携機能.....	10
ブレード収納ユニット間接続.....	10
ブリッジ機能.....	11
SNMPエージェント.....	12
EM二重化.....	13
E-Mail通報機能.....	13
ネットワーク環境.....	14
利用ポート番号.....	14

2 EMカード取り付け/取り外し

安全上の注意.....	16
取り付け/取り外しの準備.....	17
取り付け/取り外しの手順.....	17
取り付け.....	18
取り外し.....	18
ブレード収納ユニット背面コネクタ.....	19
UPPERポート/LOWERポート接続図.....	20

3 コマンドラインコンソール機能の使い方

接 続.....	22
マネジメントポートとの接続.....	22
シリアルポート経由の接続.....	22
ネットワークポート経由の接続.....	23
初期設定.....	24
日時設定(EMカード).....	25
ユーザ設定(EMカード).....	26
ロック設定(EMカード).....	27
ブレード収納ユニット設定(EMカード).....	28
ネットワーク設定(EMカード).....	29
SNMP設定(EMカード).....	34
ユーザに対するモジュールアクセス権の設定 (EMカード).....	36
電源ユニット設定(EMカード).....	37
DianaScope Gateway 設定(EMカード).....	38
各種設定(CPUブレード).....	38
スイッチモジュール/スルーカードへのコンソール接続.....	39
各種設定(スイッチモジュール/スルーカード).....	39
動作状態の確認.....	40
ブレード収納ユニット.....	40
FANユニット.....	41
電源ユニット.....	41
EMファームウェアのアップデート.....	42
EMファームウェアイメージの設置.....	43
EMファームウェア設置サーバとの接続例.....	43
EMファームウェアのアップデート.....	44
パスワードリカバリ.....	46
EMカード.....	47
コマンド入力仕様.....	49
CLI起動方法.....	49
起動方法.....	49
シリアルポート経由の接続.....	49
Telnet/SSH経由.....	50
コマンド入力方法.....	51
基本方針.....	51
コマンド入力方法.....	51
ユーザアカウント管理.....	54
概 要.....	54
既定ユーザ.....	54
ユーザアカウント.....	54
アクセス権.....	54
Administrator.....	55
CLI追加ユーザ.....	55

コマンド一覧.....	56
コマンド一覧.....	56
コマンド仕様.....	70
名称.....	70
概要.....	70
コマンド名.....	70
第一引数.....	70
第二引数..第n引数.....	70
実行例.....	70
初期値.....	70
補足.....	70
一般コマンド.....	71
CLI画面クリア.....	71
CLI終了.....	71
ヘルプメッセージ表示.....	72
コマンド入力履歴の表示.....	73
ラック管理コマンド.....	74
ラック名の設定.....	74
ラック名の表示.....	75
ラックユニークIDの設定.....	76
ラックユニークIDの表示.....	76
同一ラック内のブレード収納ユニットの接続状態の表示.....	77
ブレード収納ユニット間接続の設定を有効.....	77
ブレード収納ユニット間接続の設定を無効.....	78
ユーザ管理コマンド.....	79
ユーザの追加.....	79
ユーザのアサイン(CPUブレード/ スイッチモジュール用).....	80
ユーザのアサイン(EMカード用).....	81
登録ユーザの無効化.....	82
無効ユーザの有効化.....	83
ユーザの削除.....	84
パスワードの設定.....	85
ユーザコンタクト先の登録.....	86
ユーザ正式名の設定.....	87
パスワードの設定.....	88
アクセス権の設定.....	89
登録ユーザの表示.....	90
ユーザのアサインの解除(CPUブレード/ スイッチモジュール用).....	91
ユーザのアサインの解除(EMカード用).....	92
システム管理コマンド.....	93
スイッチモジュールのシリアルポート経由の接続の強制切断.....	93
PING.....	94
Config情報の初期化(初期値へ戻す).....	95
筐体ネットワークコマンド.....	99
DNSサーバの登録.....	99
IPアクセスを許可するアドレスの登録.....	99
SNMPトラップ通知先の登録.....	100
ネットワークアクセス許可の無効化.....	100
NTP機能の無効化.....	101
SSH接続機能の無効化.....	101
SNMP機能の無効化.....	102
SNMP TrapAck機能の無効化.....	102
Telnet接続機能の無効化.....	103
ネットワークアクセス許可の有効化.....	103
NTP機能の有効化.....	104

SSH接続機能の有効化.....	104
SNMP機能の有効化.....	105
SNMP TrapAck機能の有効化.....	105
Telnet接続機能の有効化.....	106
登録済みのDNSサーバの削除.....	106
登録済みのIPアクセス接続許可リストの削除.....	107
登録済みのSNMPトラップ通知先の削除.....	107
IPアドレスの設定.....	108
ドメイン名の設定.....	109
デフォルトゲートウェイの設定.....	109
NTPの更新間隔の設定.....	110
Primary NTPサーバのIPアドレスの設定.....	110
Secondary NTPサーバのIPアドレスの設定.....	111
Get動作を許可するSNMPコミュニティ名の設定.....	111
Get/Set動作を許可するSNMPコミュニティ名の設定.....	112
Trap動作を許可するSNMPコミュニティ名の設定.....	113
SNMPコンタクト先の設定.....	114
SNMPロケーションの設定.....	114
ラック内のブレード収納ユニット搭載位置の設定.....	115
ラックの高さ情報の設定.....	115
SNMP TrapAckポート番号の設定.....	116
ネットワーク設定の表示.....	116
SNMP設定の表示.....	118
SNMPトラップテスト.....	119
筐体管理コマンド.....	120
Config設定のダウンロード(リストア).....	120
アクティブEMの切り替え指示.....	121
EMファームウェアの再起動.....	122
CLI自動終了機能の設定.....	122
日時設定.....	123
イベント表示機能の設定.....	123
ブレード収納ユニットの資産番号の設定.....	125
ブレード収納ユニット名の設定.....	125
ブレード収納ユニットのIDランプの設定.....	126
電源制御ポリシーの設定.....	127
電源冗長モードの設定.....	128
タイムゾーンの設定.....	129
ブレード収納ユニット内の全構成情報の表示.....	130
CLI自動終了機能の設定表示.....	131
Config設定情報のCLIコマンド形式による表示.....	132
日時表示.....	135
イベント表示機能の設定状態表示.....	136
FANユニット情報の表示.....	137
ブレード収納ユニット情報の表示.....	140
電源ユニット情報の表示.....	141
ブレード収納ユニットステータスの表示.....	143
ブレード収納ユニット温度の表示.....	144
電源関連の設定情報の表示.....	145
EMカード/EMファームウェアバージョン表示.....	146
EMファームウェアアップデート.....	147
Config設定のアップロード(バックアップ).....	148
余剰電源 ON/OFF制御.....	149
入力電力の上限值.....	150
FANユニット回転速度の表示.....	151
FANユニット電圧/電流の表示.....	151
CPUブレード管理コマンド.....	152
CPUブレードの電源OFF.....	152
CPUブレードの電源ON.....	153
CPUブレードの再起動.....	154

CPUブレードのIDランプの制御	155
CPUブレード情報の表示	156
CPUブレード情報の一覧表示	159
CPUブレードポートマップ情報(E-Keying情報)の表示	161
CPUブレードステータスの表示	163
CPUブレード電源投入遅延時間の設定	165
CPUブレード電源投入遅延時間の表示	166
CPUブレードの一般情報(仮想LCD)を表示	167
CPUブレードのIPMIログ(SEL情報)取得	168
CPUブレードの電力制御モードの設定	169
CPUブレードの電力制御モードを表示	170
スイッチモジュール管理コマンド	171
スイッチモジュールのシリアルポート経由の接続	171
スイッチモジュールの電源OFF	174
スイッチモジュールの電源ON	175
スイッチモジュールのUser Assigned Nameの設定	176
スイッチモジュールのIDランプの制御	177
スイッチモジュール情報の表示	178
スイッチモジュール一覧の表示	179
スイッチモジュール マップ情報(E-Keying情報)の表示	180
スイッチモジュール ステータスの表示	182
EM管理コマンド	184
EMカード固有名の設定	184
EMカードのIDランプ操作	185
EMカード情報の表示	186
EMカード ステータスの表示	187
EMカード言語タイプ設定	189
マネジメントLANポートリンクダウン時の 自動スイッチオーバー機能の有効化	190
マネジメントLANポートリンクダウン時の 自動スイッチオーバー機能の無効化	191
マネジメントLANポートリンクダウン状態を 確定するまでの待ち時間の設定	192
EMネットワーク情報の表示	193
DianaScope制御コマンド	194
DianaScope Gatewayパスワード設定	194
DianaScope Gatewayパスワード表示	195
DSGステータス設定	196
DSGステータス表示	197
SIGMABLADEモニター制御コマンド	198
OSDの設定を初期化	198
SIGMABLADEモニターのパスワードを無効	198
SIGMABLADEモニターのパスワードを有効	199
SIGMABLADEモニターのリセット	199
SIGMABLADEモニターのバックライトオフ時間を 設定	200
SIGMABLADEモニターパスワードの設定	200
SIGMABLADEモニターのLCDの表示内容の表示	201
SIGMABLADEモニターのバックライトオフ設定時間の 表示	201
SIGMABLADEモニターパスワード設定の表示	202
SIGMABLADEモニターファームウェアリビジョンの 表示	202
SIGMABLADEモニターファームウェアの アップデート	203
E-Mail通報機能コマンド	204
E-Mail通報機能の無効化	204
送信メールサーバとのSMTP認証の無効化	204
E-Mail通報機能の有効化	205

送信メールサーバとのSMTP認証の有効化	206
通報先メールアドレス(その1)の設定	207
通報先メールアドレス(その2)を設定	207
通報先メールアドレス(その3)を設定	208
通報メールの通報元メールアドレス設定	208
通報メールの通報レベル設定	209
通報メールの返信先アドレス設定	210
送信メールサーバとのSMTP認証で使用する パスワードの設定	211
送信メールサーバとのSMTP認証で使用する ユーザ名の設定	212
通報メールのSMTPポート番号の設定	212
通報メールのSMTPサーバのIPアドレスの設定	213
通報メールの件名の設定	214
E-Mail通報に関する各種設定値の表示	215
E-mailテスト通報	216
ログ採取コマンド	217
付 録	218
タイムゾーン	218

4 Webコンソール機能の使い方

接 続	220
ログインと基本操作	220
ログイン/ログアウト	220
ログイン	220
ログアウト	221
画面の構成	222
画面名称	222
基本操作	223
機能項目の選択	223
機能項目内での選択	223
アクセス権限の一覧	224
システムの状態表示	227
ステータス表示一覧	227
CPUブレードの一覧表示	228
スイッチモジュールの一覧表示	229
ブレード収納ユニットの一覧表示	230
EMカードの一覧表示	231
電源ユニットの一覧表示	232
FANユニットの一覧表示	233
iStorageの一覧表示	234
システムの詳細情報表示	235
CPUブレードの詳細情報	235
スイッチモジュールの詳細情報	239
ブレード収納ユニットの詳細情報	241
EMカードの詳細情報	243
電源ユニットの詳細情報	245
FANユニットの詳細情報	246
ラック情報	247
ブレード収納ユニット間接続の有効化	247
ラック情報の表示	249
電力情報	252
入力電力	253
管理電力	254
電 源	255

ブレード	256
スイッチモジュール	257
FANユニット	257
製品情報の表示	258
製品情報表示一覧	258
製品情報の保存	259
ブート制御	260
ブートコンフィグ選択	261
表示内容	261
ブートコンフィグ選択	261
ブートコンフィグの詳細情報表示	263
ブートコンフィグ適用	264
ブートコンフィグ適用結果	266
ブートコンフィグ適用結果詳細	267
ブートコンフィグ設定	268
ブートコンフィグ設定編集ウィザード	270
NASブレード接続情報	294
vIO情報	296
vIOコントロール機能利用時の注意事項	297
vIO情報の重複が発生する例	301
環境設定	307
設定の編集	307
EMカードネットワーク	307
電源管理	311
ラック	313
ブレード収納ユニット	315
SigmaSystemCenter	316
DianaScope	317
ブレード ブートディレイ	318
ブレード 優先度	319
スイッチモジュール	320
SNMP	321
FANユニット	323
iStorage	324
外部認証の設定	325
その他の設定	326
適用	327
設定のバックアップ	329
バックアップ実行	329
設定のリストア	330
リストア元ファイルの選択	330
適用	330
設定の初期化	331
NASブレード電源連動設定	332
ブレード名設定	334
スイッチ設定	335
E-Mail通報設定	339
適用	342
テスト通報	343
時刻設定	344
パスワード設定	345
ユーザのパスワードの変更	345
SIGMABLADEモニターのパスワードの変更	347
DianaScope連携のためのパスワードの変更	348
NASブレードターゲット情報取得のための パスワード登録	349
ログ管理	350
EMカードのログ採取	350
EMカードのログ表示	350

ファームウェアアップデート	351
EMカードのファームウェアアップデート	351
EMファームウェア レビジョン同期	354
診 断	356
診断実行	357
その他	358
スイッチオーバ	358
ユーザ管理	359

5 SIGMABLADEモニターの使用方

SIGMABLADEモニター各部の名称	362
ランプ表示	362
SIGMABLADEモニターの操作	363
トップ画面	363
メインメニュー	363
KVM/DVDの切り替え	364
システム情報表示	365
FAN/電源の状態表示	365
EMカード情報の表示	367
CPUブレード情報表示	368
仮想LCDの表示	368
CPUブレードの状態表示	369
スイッチモジュール情報表示	370
スイッチモジュールの状態表示	370
システムの設定	371
EMの設定	371
EM設定のバックアップ	375
EM設定のリストア	377
EMファームウェアのアップデート	379
EMファームウェアのバックアップ	383
EMスイッチオーバー	385
EMカードファームウェアの同期	386
ログ採取	389
EMログ採取	389
診 断	391
FAN診断	391
OSD(On Screen Display)の設定	393
OSDホットキーの設定	394
キーボードタイプの設定	395
メンテナンスメニュー (保守用メニュー)	396
OSDの設定保存	396
SIGMABLADEモニター診断	397
診断処理の実行	397
診断中の表示	397
診断終了の表示	398
EMカード異常時の表示	399
KVM/DVDの切り替え	399

6 OSD(On Screen Display)機能の使い方

OSDメニューモード	403
OSDメニューモードの起動	404
OSDメニューモードの操作	404
Blade Selection Menu (メインメニュー)	405
Blade Control Menu	410
Rack Control Menu	414
Enclosure Control Menu	416
On Screen Display (OSD) Setup Menu	418
OSD簡易モード	423
OSD簡易モードの起動	423
OSD簡易モードの操作	424
KVMの切り替え	424
サーバ名常時表示モードの設定変更	424
サーバ名常時表示モード	425
サーバ名常時表示モードの起動	425

7 サーバ管理ソフトウェア

ESMPRO/ServerManager, ServerAgent	428
DianaScope Manager, Agent	430

8 トラブルシューティング

ランプによるエラー表示	434
SIGMABLADEモニターに表示されるエラーメッセージ	434
障害時の情報採取	436
概要	436
Webコンソールから行う方法	436
SIGMABLADEモニターから行う方法	436
コマンドラインコンソールから行う方法	437
ESMPRO/ServerManagerから実行する方法	437
その他	438